

# KICK OFF 通信



## 脳卒中と向き合う

Part II

### ◆予算委員会 分科会に登壇

前号に取り上げました脳卒中对策についてさらに掘り下げるべく、塩崎厚労大臣を相手に、公式な場で問い質しました。とりわけ大臣の義母さんも脳卒中を患い、歩行困難な状況にあるとのこと。大臣曰く、「大変身近であり、深刻であり、これをしっかり予防しながら、何とか減らしていかなければならない」という、言質を得たところでした。

### ◆脳卒中对策の 最大のポイント

何より大切なのは、脳卒中に発症した際に、一刻も早く現場から病院に連れていって、適切な治療が受けられることです。そのためには、①救急搬送時間の短縮、②搬送時の的確な対応、③受入れ体制の充実化など、が不可欠と思われま

ところが、この時間との勝負であるにも関わらず、患者の「たらい回し」による死亡もしくは、重症化が社会問題になったことはご記憶にあるでしょう。

### ◆横浜市の 取り組み事例

現在、我が横浜市では、先駆的に脳卒中治療に取り組んでおります。市内29の病院が、この脳卒中救急医療体制に参加しており、救急車と医療機関の連携強化によって、時を待たずにt-PA治療が可能となっております。

あくまで推計値ですが、これによって全国レベルでの死亡率17%に比べて、市は9%にとどまっているという成果を上げております。

#### 【プロフィール】

昭和37年 7月28日生まれ  
神奈川県立湘南高校・慶應義塾大学卒業後、サラリーマン生活を経て代議士秘書に  
平成 4年 「税は政治なり」との思いで始めた税理士試験に合格  
平成 7年 県議会議員初当選～平成19年まで連続3期  
平成19年 第21回参議院議員選挙当選  
予算委員会・財政金融委員会・ODA特別委員会議事  
平成26年 第47回衆議院議員選挙当選  
総務委員会議事 維新の党・国家政策部会長  
維新の党・税制調査会事務局長 etc  
平成27年 維新の党総務会長代理、衆・沖縄北方特委理事等  
平成28年 民進党結成に参画

何より、ここで注目すべきことは、市は治療実績を数値で表し、公表している点です。

### ◆メディカル・ コントロール体制とは

一昨年4月に救急救命士法が一部改正されて、現場において救急隊が常時、医師の指示や助言によって、応急的な処置ができるようになりました。しかし、未だに救命士と医者との役割分担が曖昧なことがあり、現場の導入が思うように進んでおりません。

さらに、医療法上の「手術室」を巡って、国と県が責任のなすりつけ合いを演じて、患者を搬送中に医師による応急的な手術が出来ない状況です。要は、救える命をいかに救うかということ、そのための法改正について、躊躇している暇はないと言えるでしょう。

# 水戸まさし

## 新たにスタート!



衆議院議員／神奈川県5区（戸塚・瀬谷・泉）

